6　本時案【1年】（第2次2/4）
(1) 主眼　「おなもみ」のたねの旅の様子を歌詞にまとめることができる。（本論2）
(2) 準備　本論2のワークシート　おなもみの写真（提示用）
(3) 展開

前時の学習	「たんぽぽ」の旅の様子を読み取り、替え歌にまとめることができた。

教師の働きかけ	予想される児童の反応	学習活動・内容
○よびかけのことば「～ください」の表現に気づかせるようにさせる。 ○「おなもみ」の写真を黒板に提示し、種がどこにあるのかを確認する。	・元気よく音読する。 ・「おなもみ」	1　本時の段落を音読し、学習課題を確認する。
		「おなもみ」のたねの旅の様子を替え歌にまとめよう。
○ワークシートで「服の様子」「服の使い方」の観点を示す。	・おなもみの種のとげのようす ・動物にひっついて旅をするようす	2　「おなもみ」のたねの旅のようすについて調べる。 ・どんな服ですか。 ・服をどんなふうに使いますか。
○「たねは、～のふくをきています。そのふくを～のようにつかって、たびをします。」の文形を提示して発表させる。 Tマジックテープを提示して、「とげ」と「毛」の関係について確認する。 ○「おなもみ」が鳥について旅をすると考える児童についてはおなもみの背の高さを確認する。	・図を見せながら発表する。 ・犬、猫、いたちなどについてひっついて旅をします。 ・鳥にひっついて旅をします。	3　調べたことを発表する。 とげのついた服を着ていること 動物にひっついて旅をすること ・とげと毛の関係
●とげと、毛の関係をふまえて、旅の様子を替え歌にまとめることができたか。 ○正しい表記になるようにワークシートに朱書きを入れて修正させる。	・どうぶつにひっついて ・どうぶつにぴったんこ ・どうぶつとなかよし	4 調べたことを替え歌にまとめる。
○穴あき板書をして、言葉を入れさせることにより、大切なことをワークシートにまとめることができるようにする。	・（ふく）が（け）について ・（とげ）が（け）について ・（たね）が（どうぶつ）について	5 本時のまとめをする。 ・各自の替え歌を歌う。 ・（とげ）は（毛）についてひっつくこと

6　本時案【2年】（第2次2/4）
(1) 主眼　ダムをつくる順序をふまえて、木をさしこむ様子を説明することができる。（⑩～⑮段落）
(2) 準備　ワークシート
(3) 展開

前時の学習	木を切って川へ運ぶ「応援歌」を作ることができた。

学習活動・内容	予想される児童の反応	教師の働きかけ
ダムづくりの「応援歌」を作ろう。		
1　本時の場面を音読し、ビーバーの仕事が分かる所に、線を引く。	・木をくわえて水にもぐります。 ・木のとがった方を川のそこにさしこみます。 ・その上に小えだをつみ上げます。 ・石でおもしをして、どろでしっかりかためます。	○歌詞の囲みに番号を打っておいて、仕事の順番に書き込めるようにしておく。 ○「枝」→さしこむ 「小枝」→つみ上げる 「石」→おもしをつける 「どろ」→かためる の関係を確認する。
2　ビーバーの仕事の順番についてまとめる。 ・もぐる ・さしこむ ・つみあげ ・かためる		○図と係わらせながら、オノマトペを挿入できるような、ワークシートを作成する。
3　ビーバーの仕事の順序が分かるような「応援歌」を作る。 ・オノマトペ	・「ぐいぐい」 ・「どんどん」 ・「きつく」 ・「しっかり」	○「小枝」「石」「どろ」「枝」の順序を入れ替えたらどうなるの。 T「さす」と「さしこむ」は、どこがちがいますか。
4「応援歌」の歌詞を比べ、仕事の順番の意味についてまとめる。 ・川の流れのはやさ ・とがった方をさしこむ ・どろや小枝が流れないように	・どろや小枝が先だと、水に流される。 ・とがった方でないとさしこめない。 「さす」より「さしこむ」の方が深くさしこむようだ。	●ダムをつくる順序をふまえて、木をさしこむ様子が表現できたか。（ワークシート）
5　本時のまとめをする。 ・各自の「応援歌」を歌う ・（　　）から、枝を「さしこむ。」	・（流れが速いから） ・（小枝が流れないから） ・（どろが流れないから）	○穴あき板書をして、言葉を入れさせることにより、大切なことをワークシートにまとめることができるようにする。